

第25回 医療安全全国共同行動 オンラインセミナー

開催日時：

9月30日(火)

18:30～19:30

シリーズ 患者安全行動計画



挨拶：長尾 能雅

医療安全全国共同行動 NPSAP担当専務理事
／名古屋大学医学部附属病院 副病院長

テーマ：行動計画4c. 検査行為における安全確保



講師：根本誠一

医療安全全国共同行動
患者安全行動計画部会4c 代表委員
／株式会社日立製作所ひたちなか総合病院
TQM統括室 安全管理センタ



講師：宇城研悟

医療安全全国共同行動
患者安全行動計画部会4c 副代表委員
／松阪市民病院
医療技術部 副部長 中央検査室技師長

【参加費】一般参加：1,980円(税込)

参加登録施設・個人登録者：無料

【チケット販売期間】

8月19日(火)～※定員になり次第、締切
※コンビニ/ATM決済での販売は、9/29(月)まで
お支払方法：クレジット決済(Visa、Master、JCB、AMEX)、コンビニ/ATM支払い、PayPal

【Peatixでの参加チケット購入について】

参加チケット代金：1,980円(税込)

※コンビニ/ATM決済は別途220円の手数料がかかります。

会員割引チケット→割引コード入力で：無料

※当法人の「参加登録施設」「医療安全レポート利用等個人登録者」の方限定

【開催方法】Zoomウェビナー

+ オンデマンド配信

(期間：10/2～10/16)

【申込URL】

<https://kyodokodo-seminar25.peatix.com>

※お申込みにはPeatixのアカウントが必要です

行動計画4cのテーマは「検査行為における安全確保」です。臨床検査業務は生理機能検査、検体検査、検体採取に大別され、最大のエラーは「患者が求める検査結果が伝わらないこと」と昨年のセミナーにおいて述べました。生理機能検査は循環器系、呼吸器系、脳・神経系の機能系と臓器別の超音波を用いた画像検査があり多種・多様です。検体検査においても自動分析装置測定、顕微鏡による細胞分類、デバイスによる判定など多種・多用です。臨床検査部門システムの管理・運用も施設によって様々です。臨床検査プロセスには前・本・後工程があり、それぞれ複雑・煩雑な「やるべきこと」が存在します。本セミナーでは生理機能検査・検体検査・病理検査における「やるべきこと」を可視化した、業務の見える化ツールを提示したいと考えています。



一般社団法人

医療安全全国共同行動
“いのちをまもるパートナーズ”

Japanese Coalition for Patient Safety (JCPS)